

保育士の活動

1. スタッフ

- 2 A病棟 堀内けい子・渡辺祐紀子
 3 A病棟 有村理美・佐藤真美・森本智子(育児休業)
 4 A病棟 中村崇江・小谷朋美・小平真菜

2. 業務内容と年間活動

1) 業務内容

入院中の子ども達が子どもらしい生活を送ることができるように生活や遊び・学習を保障し、その子の成長発達に応じた援助を行う。以上のことを基本に短期入院の子ども達には心の安定を図ること、長期入院の子ども達には生活を整えること、成長発達を促進することを中心に支援を行っている。保護者に対しても子どもの入院生活を安心して受け止められるようにコミュニケーションを密にして支援を行っている。また、必要に応じて、子育て支援なども行っている。保護者を通して、兄弟姉妹の支援も行っている。

2) 年間活動

(1) 子ども医療センター全体で行った行事

①銀だこの訪問

平成20年11月6日

銀だこカーがセンター北口の駐車場に來訪し、実際にたこ焼きを焼いているところを子ども達と家族が見学した。その後、焼きあがったたこ焼きを各病棟のプレイルームで子ども達がそれぞれ思うようにトッピングして家族と楽しむことができ、子ども達も家族も大満足であった。食べられない子ども達にも、銀だこより塗り絵などが用意され、病棟から銀だこカーのワッペンが配られ雰囲気を楽しむことができた。

②マクドナルドアピランスの病院訪問

平成20年11月10日10:30~17:00

クリエイティブルームの参加者：約40名

マクドナルド社の協力を得て、病室を訪問する時間を長くしたため、クリエイティブルームでのDonaldのショーを午前中に開催した。終了後、参加できなかった子どもたちのところに病室訪問を行なった。今回も昨年同様、マクドナルド社のご配慮でDonaldと子ども達一人一人が写真を撮り、当日写真をプリントアウトしていただくことができ、記念のひとつとなった。このイベントも今年で3回目となり、スタッフの間でも定着してきており運営がスムーズに行われるようになった。

(2) 各病棟で行った行事

病棟ごとに子ども達の特徴があるため、全体で行事を最小限にし、毎月、余暇活動を実施するなど各々の病棟の特色に合わせた行事の運営を行った。余暇活動を実施するに当たりボランティアの方々の協力を得た。

①ピクニック

5月

〔 3 A病棟
4 A病棟

②ハロウィン

10月31日

〔 2 A病棟
3 A病棟

③クリスマス会

12月19日

〔 2 A病棟
3 A病棟
4 A病棟

④ひな祭り会

3月3日

〔 2 A病棟
3 A病棟
4 A病棟

その他、エプロンシアター、手品、合唱、バルーンアートなどを各々の病棟で実施した。

3. 保育士会の係活動

- ・保育業務基準の作成を開始した。
- ・保育士の教育計画に基づく勉強会を年3回、その他保育士独自の勉強会を年3回、合計6回の勉強会を実施した。
- ・子ども医療センター全体の遊具や本の管理を行っている。

4. その他

- ・医療現場における保育士の専門性の確立・保育の質の向上を目指して、保育士の教育計画を作成した。運用マニュアルの作成、その他実施してみたいの改善を行った。
- ・支援基金の寄贈品の中で、保育活動に必要な物品の管理を行っている。
- ・日本医療保育学会認定資格である「医療保育専門士」の資格取得のための研修を終了し、現在、論文作成に3名が取り組んでいる。
- ・今年度作成予定であった標準保育計画は、現在立案されている保育計画の内容を検討した結果、個別性

を重視した計画が多く、標準計画を作成しても使用頻度が少ないことが予測されたため作成は見合わせた。

5. 次年度の課題

- ・保育士の教育計画を完成する。
- ・教育計画に基づいた研修や自己研鑽に努める。
- ・「医療保育専門士」の資格を取得する。
- ・保育業務基準を作成する。
- ・目的別の遊びカードの作成をする。